

今回のおすすめメニュー



『豆腐小僧双六道中ふりだし』

京極 夏彦 || 著
出版社：講談社
所蔵館：中央館
請求記号：913.6キ



ちょっと、あじみ

紅葉豆腐が乗ったお盆を手に、ただ立っているだけの妖怪「豆腐小僧」。妖怪だけど、人を脅かすことも困らせたりすることもなければ、なにか福をもたらすわけでもありません。

そんな小僧が「豆腐を手放したら、自分はどうなるのだろう？ただの小僧になるのかな？それとも豆腐ごと消えてしまうの？」なんて考えたことから豆腐小僧の旅は始まります。

妖怪「鳴屋」や「死に神」との出会いを通じて「妖怪とは何か」を考えたり、妖怪を乗っ取ろうと企む！？狸たちの「妖怪総狸化計画」を阻止するため奮闘したり…妖怪のくせに妖怪を怖がる、なんともお茶目な豆腐小僧と一緒に、愉快的旅に出ませんか？

600ページ超えというボリュームたっぷりの本書ですが、豆腐小僧と妖怪たちのやり取りに笑っているうちに、あっという間に読めてしまうはず！

本書の続編『豆腐小僧双六道中おやすみ』（所蔵：中央館）もあるので、小僧のその後が気になった方は読んでみてください。

サイドメニュー



『妖怪 身近にいるあやしいもの』
小松 和彦 || 監修 / 野村 たかあき || 絵
出版社：グラフィック社
所蔵館：中央館
請求記号：388ヨ



他にはどんな妖怪がいるんだろう？
妖怪たちに興味を持った方は、こちら
も読んでみてください！
沖縄のあの妖怪も紹介されています。



『ゲゲゲの鬼太郎妖怪ファイル』
水木 しげる || 画
出版社：講談社
所蔵館：石川館
請求記号：388ミ

